発行所
新潟県中魚沼郡
中里村公民館
毎月1回25日
定価 1部 5円

なかさと

私たちの村

人口	7,268 (＋ 2)
男	3,603 (＋ 2)
女	3,665 (± 0)
世帯数	1,669 (＋ 9)

4月31日現在

5月

今年の天候は、長期予報によりますと、変動が大きく、夏の天候も不安定と予想されています。そのため今年の稲作は真重なつくり方が必要とされます。

「田植え」

○消雪は遅かったが、5月前半の天候がよかったため苗の伸びがよかったので、徒長させないで、早植えして下さい。特に機械移植は5月末から遅くとも6月5日までには植え付けて下さい。

○田植えはできるだけ暖かい日にするよう心がけて下さい。

○機械移植では、特に株数の不足しないように、正確に植えつけて下さい。

「田植え直後の管理」

○活着後は浅水管理を基本とし、できるだけ水温を高める工夫をして下さい。

○自脱コンバイン排ワラすきこみ田は、ワキの多いことが予想されますので活着後は、時々水を落して、間断かん水として下さい。

○中間除草剤（サターンS、スエップM等）は、田植え後15～25日程度をメヤスにして使用して下さい。ワキの多い田では、中期除草剤の使用を中止して、除草機等で中耕をして下さい。

中里村三校合同修学旅行

倉俣中学校三年

鈴木正代

5月4日晴れ、修学旅行当日。私の心は踊っていた。誰もがそうだったろう。老人福祉センター前でまだ知らない顔、顔、顔。この中の誰と何人の友だちができるだろうか、と思いながら、京都、奈良の旅への期待を胸に出発した。京都では、平等院、二条城、三十三間堂、奈良では、法隆寺、金閣寺、清水寺、奈良公園など。

多くの見学をしたわけです。やはりこの見学地の中で一番印象に残ったのは、あの歩くと「キュキュ」と鳴った、うぐいす張りがあり大きくて「ほう」と思わず声が出てしまった二条城でした。旅館では、他校の人と行き来をし友情を深めあい、また、帰りの汽車の中では、笑い声も大きく、となりの車両との行き来がさかんになり、他校の人の名も覚えることができて、帰りは本当に楽しい旅でした。旅行の目的である、「我が国の古代を知り、集団行動を身につけ、他校との友情を深めること」を十分達成できた、意義ある旅行でした。この旅を計画してくださった方々に本当に感謝し、今後の学校生活に十分生かして行くことを誓いたいと思います。

山火事に注意！

例年、五月から六月にかけて、この地方は異常乾燥状態が続き、最も山火事の発生し易い季節となります。

毎年、全国各所で山火事が発生し、大切な山の資源を失い、大きな損害を与えています。

山火事の原因は、「たばこ」「たき火」などの不注意によるものが大部分となっています。

みんなの財産である、大切な国有林の資源を守るため、山に入る時は次の事を守るように注意しましょう。

◎山では「歩きたばこ」は止めましょう。道路か沢べりで吸い、「マッチ」の燃えがら「たばこ」の吸いがらは完全に消したことを確かめてから立ち去って下さい。

◎山では絶対に「たき火」はしないで下さい。

中里文芸三月[illegible]

◎俳句

捨てられた[illegible] 海人

[illegible]桜や[illegible]客の千鳥足 玉泉

[illegible]のとう摘む手に[illegible]残りけり 栄山

つくし野の風は[illegible]のあたりより 涼子

[illegible]桜も風の若さの中にあり 梢[illegible]

昔の石神に黄金の八重桜 独[illegible]

春[illegible]の部落を[illegible]む夕煙り [illegible]石

荒駒のひよ[illegible]花[illegible] 晴[illegible]

宮中橋始めて渡り春の[illegible]

芒月

満ちたりし日の続き[illegible]り
さつき晴れ 渡雪

残雪を若葉に[illegible]す大欅 迫[illegible]

病院でながめる[illegible]くらやがなし [illegible]

[illegible]ぬるむ頃を娘は母となる [illegible]

[illegible]も[illegible]し生涯職人気質にて 露[illegible]

[illegible]短歌

雉を鉄でつながる犬なでつつ

我がうちにある足枷計る 広田タマ子

夫と共にたどりし[illegible]ふりかえる
[illegible]の[illegible]ス

小春日に舗道を走る湯けむりの
風はなく[illegible]こか消える[illegible] [illegible]タカ

明け近か[illegible]窓辺[illegible]
今日晴れなりと[illegible]と詣でう 山本ケン

グループで分けてもいしナスの
西朝夕五子を育てるが如 岡村ソセ

息づまる程ににほる新緑の野
残雪を望み[illegible] [illegible]子

フォンに聞く「今かはず[illegible]
里清津辺の[illegible]ほろしのはゆ 近藤澄子

人生往来

◎産声

桑原 友子	博	山崎
竹田 一馬	一夫	干溝
滝沢 香里	明雄	田代
富井 誠	善一	市之越
高野 良徳	一男	芋沢
樋口 雅史	貞夫	干溝
桑原 和美	今朝義	倉俣
太嶋 宏至	正司	白羽毛
南雲 涼子	晴三	堀之内
桑原 真美	清一郎	重地
松沢 鮎美	勝英	山崎
東 修一	文雄	上山

◎高砂

新郎	吉楽 弘一	(三〇)	宮中
新婦	吉楽美江子	(二五)	宮中
新郎	藤田 和道	(二五)	宮中
新婦	藤田 玲子	(二四)	宮中
新郎	太嶋 正八	(二四)	白羽毛
新婦	小林三枝子	(二三)	津南町
新郎	井ノ川重幸	(二四)	如来寺
新婦	太嶋 久子	(二三)	芋沢
新郎	齋喜 利栄	(二六)	倉俣
新婦	涌井 町子	(二一)	十日町
新郎	南雲 良徳	(三一)	堀之内
新婦	藤田 博美	(二〇)	十日町

◎昇天

山本 良章	(六八)	葎沢
鈴木 トリ	(七七)	倉俣
阿部 松義	(七〇)	高道山
桑原 廣正	(六五)	田代
村山 和夫	(五一)	東田尻

忘れもの

総合センターの公衆電話のところに、小さな、茶色の皮製財布がおちていました。公民館で保管してあります。とりに来て下さい。

あなたはどう考えますか「生活の合理化、簡素化」

― 川西町で社会教育大会 ―

古来、人間関係の円滑化に欠かせない要件として受け継がれてきた儀式、呼び、呼ばれ、贈答の美風が、社会構造や生活様式の急変に伴って、価値感を混乱させ振舞や交際費の散財がエスカレートしている。

金は使うためにあり、人は能力に応じて金を使い、その額は生きがいにイコールすることを考えれば、だれが、何に金をかけても文句のつけようがない。

しかし、ムダなことなのに、という気もちがだれにも少しでもあるとすれば、何がムダなのかをみんなで考え、生活の合理化、簡素化を申し合わせるのも、また必要なことなのではないでしょうか。

冠婚葬祭に金がかかりすぎる。生活が派手になって交際が容易でない、という声がしきりにきかれます。そこで、今回の大会では、「生活の簡素化、合理化をどう考えたらよいか」―とくに、冠婚葬祭や交際のありかたについて―という主題をかかげて、みんなで考えてみようというわけで、次の要領で開催されます。

◎日時　六月十八日（日）　午前九時
◎会場　川西町総合センター
◎内容　午前　シンポジウム
　　　　午後　講演会
　講師　県婦人連盟常任理事　藤田　シヅエ氏
　演題　「生活の簡素化に思うこと」

参加を希望する方は六月十三日までに公民館（電話二四九三）宛申し込んで下さい。

―学校開放―

スポーツで一緒に汗を流しませんか

村民のみなさんにスポーツ、レクリェーションを楽しんでいただこうと例年、学校体育施設を開放していますが、今年は従来の開放校に高道山小学校体育館を加えた。5ケ校を表の要領で開放しています。表の曜日、時間内であればいずれの施設を利用することもできますが、職場、団体やサークルで継続的に使用する場合には、あらかじめ公民館に「利用者団体登録申請書」を提出していただくことになっています。これを提出していないと利用することはできません。次にあげる注意事項を守って楽しく利用しましょう。

◎グラウンド内への車輌乗り入れ禁止。
◎タバコのすいがら等の火気に注意すること。各開放校に赤いバケツを備えてあるので必ずバケツのある所で喫煙しすいがらは消却炉へすてること。
◎使用後の戸締りを確実に行うこと。
◎使用後は必ず「学校開放日誌」を記入すること。
◎鍵の受け渡しを確実に行うこと

学校施設名	開放の定日	時　間	備　考
田沢中体育館	月・火・金 土・日曜	6時30分 ～9時30分	土曜日の開放は不定期になっていますのであらかじめ公民館に問い合せて下さい。又、5月1日～8月20日までは開放時間を10時までとし、日曜日も開放します。
田沢小体育館	月・火・金 土曜	6時30分 ～9時30分	
倉俣中体育館	火・金曜	7時 ～9時30分	
貝野中体育館	木・土曜	7時 ～9時30分	
高道山小体育館	月・木曜	7時 ～9時30分	
田沢小、中グラウンド	月～土曜	クラブ活動終了後	日曜日の使用については公民館あてに申し込んで下さい。 田沢小、中のグラウンドについては生徒の活動に支障のない範囲で朝も使用できます
倉俣中グラウンド	月～土曜	クラブ活動終了後	
貝野中グラウンド	月～土曜	クラブ活動終了後	

五月から六月にかけては絶好のスポーツシーズンで、例年、六月に入ると各種スポーツ大会が催されます。六月十一日には第二十六回県青年大会中魚沼郡予選が郡内各町村を会場に、又、二十五日には郡市婦人バレーボール大会が津南町で開催されることになっています。

青年大会は、昭和23年4月1日以降に生れた勤労青年を対象とし、排球（男・女）籠球、野球、バドミントンの各種目にわたって覇を競うもので、中里村チームは例年、優秀な成績を納めています。

一方、婦人バレーボールは、今年四月一日以降郡市内に在住する既婚者の大会で、各選手は今年こそは上位入賞を目指してがんばっています。青年大会チームは田沢中学校を中心に、婦人バレーは田沢中学校と貝野中学校を中心に練習を行っていますので、一緒にやってみたい方、感心のある方は公民館へ連絡するか、直接練習の場に顔を出して下さい。

善意をありがとう

如来寺老人クラブ（会長富井清正さん）から老人福祉センターへ雑巾がおくられました。

危険物取扱者試験 受験準備講習会のお知らせ

新潟県では、きたる7月26日に危険物取扱者試験を実施する予定ですが、これに備え、次の通り受験準備講習会を開催いたしますので希望者は受講されますようご案内申し上げます。

◎日　時　6月15、16日
◎場　所　十日町市民会館
◎講習対象　乙種危険物取扱者試験の受験者
◎受講申込の受付期間
　5月25日　～　6月10日
◎申し込み先
　十日町地域消防本部予防課
◎受講料　会員　千五百円
　　　　　非会員　三千円

受講料は申し込み時に納入するものとし、欠席しても返さない。

テキストは申し込み時に交付いたします。又、参考図書は当日、会場で販売いたします。

尚、講習会は、十日町以外でも6月5日～7月4日の間、県下15会場で実施されますので、他の会場で受講を希望される方は地域消防本部予防課にお問い合せ下さい。

（電話＝十日町七一一五五五）

税金がもどってきます

今回、昭和五十二年分の所得税の特別減税が行われ、次の金額が還付されることになりました。

還付される金額は、本人は六千円、控除対象配偶者や扶養親族は一人につき三千円として計算した金額です。ただし、昭和五十二年分の所得の方が少いときは、その税額までとなります。

還付方法と手続は次の通りです。

〈サラリーマンの場合〉

本年六月一日現在において昨年と同じ会社に勤務しているサラリーマンは、六月～七月ごろ、勤務先から還付されます。

〈事業所得者などの場合〉

事業所得者など確定申告をして納税した人は、六月末ごろに税務署から特別減税についてのお知らせが送付されますから、これに同封してある還付請求書用紙に所要の事項を記入して、税務署に送り返して下さい。そうしますと、税務署から還付金の支払通知書が送られてきますから、この支払通知書によって郵便局で還付金を受取ることになります。

〈その他の人の場合〉

今年になって五月末までに退職した人や、昨年中途で退職した人などは、税務所へ還付請求をして下さい。この場合、昭和五十二年分の確定申告書を提出していない人は、期限後の確定申告をして、特別減税を受けることになっています。詳しい事は税務署又は役場税務課へおたずね下さい。

被保険者住宅資金貸付について

被保険者住宅資金貸付について国民年金の加入者が、住宅を新築したり購入する場合その資金を借りる制度です。

対象者(1)国民年金の加入期間が三年以上ある人。融資額(1)加入期間が三年以上五年未満⇩一〇〇万円
(2)加入期間が五年以上⇩二〇〇万円。この他に老人（六十五才以上の人）身体障害者（身体障害者福祉法で定める一級及び二級の人）と同居している場合は割増しを希望できます。その基準と融資額
①老人又は身体障害者を含み三人以上の親族が同居⇩三十万円
②老人及び身体障害者を含み三人以上の親族が同居⇩六十万円
利率年六パーセント
申し込み先「住宅金融公庫代理店」の表示のある金融機関です。
申し込み受付期間　第一回目が、四月二十四日～六月三十日迄
㊟この貸付は単独で利用することができず必ず住宅金融公庫との融資を併せて貸し出されます。なお詳しいことは金融機関におたずね下さい。

敬老会ひらかる

今年も村内六ケ所で恒例の敬老会が行われ、次の十二名の方が八十八才の米寿表彰をうけました。

池田　ギン（如来寺）
川田　クマ（田　中）
大島　寛吉（干　溝）
岡村　イセ（山　崎）
阿部　茂正（高道山）
古高　ハマ（朴木沢新田）
根津　タツ（芋　川）
滝沢　ヒノ（重　地）
大口　周策（重　地）
大島　清（倉　俣）
吉楽　栄松（宮　中）
羽鳥　ヒメ（本屋敷）

「囲碁クラブ」の会員は、約五十名。毎月第三日曜日が定例会で、総合センターで、一人五局勝負を行ないます。近年成績は上昇中で、目下日本棋院から二段の免許を得た者二名、初段位八名、一級から五、六級の者や、十日町市、津南町からの入会者もあります。仲間うちで、野沢の民宿や、塩沢の湯へでかけることもあります。朝早くから深夜まで打ちつづけて、宿の人にあきれられたこともあります。身分の上下も老幼の別もなく、和気あい〳〵です。

俺と来て遊べや友のない雀

問い合せは鈴木寛栄（電話二〇八六）まで